

【短報】滋賀県で採集されたテントウダマシ科

テントウダマシ科は日本産として 80 種が知られており、これまでに滋賀県からはヨツボシテントウダマシ 1 種のみ (新保・保積, 1979; 新保, 1991) の記録がある。本稿では滋賀県産のテントウダマシ科 10 種の種リストを提示する。それらのうち、滋賀県から新たに記録された 9 種は、種名の後に【新】と記した。採集データに記した FIT (Flight interception trap; 図 1) は、腐敗防止用に微量の酢酸液を加えた水道水を満たした縦 21 cm×横 31 cm×高さ 5 cm のプラスチック製トレイを地面に置き、トレイの長辺間に 2 本の金属製の棒を地面に突き差し、その間にビニル製の透明ゴミ袋を張ったもので、飛翔昆虫がビニルに衝突後、下のトレイに落ちる構造となっている。落下した昆虫の回収は 7 日毎に行い、適宜給水と酢酸液 (腐敗防止用) の補充を行った。設置期間 (設置数) は、日野町北畑綿向山 (設置環境; スギ人工林および広葉樹林, 以下同じ) が 2004 年 8 月 11 日～2006 年 3 月 5 日 (4 基)、東近江市紅葉尾町 (スギ人工林および広葉樹林) が 2007 年 5 月 3 日～2016 年 12 月 3 日 (5 基) [設置は継続中] である。

市町名については、市町合併後の現時点のもので示した。採集者はすべて筆者の山本であるため、データには記していない。和名と学名の配列は佐々治 (1985) に従った。

未筆ながら、種の同定には清山好美氏 (大阪府) にご協力いただいた。ここに記して謝辞としたい。

1. チャバネムクゲテントウダマシ *Stenotarsus chrysolinellus* Gorham, 1887 【新】

東近江市紅葉尾町 -FIT: 4. VIII. 2007(1ex.). 紅葉尾高野町, 5. VII. 2009(1ex.).

2. カタバニケブカテントウダマシ *Ectomychus basalis* Gorham, 1887 【新】

日野町綿向山, 19. IX. 2004(1ex.). 東近江市紅葉尾町 -FIT4: 26. V. 2013(1ex.).

3. クロモンケブカテントウダマシ *Ectomychus musculus* (Gorham, 1887) 【新】

大津市芝原, 8. VII. 1986(5exs.). 彦根市多賀町高室山, 24. V. 2003(1ex.). 日野町綿向山, 26. VI. 2005(1ex.). 東近江市紅葉尾町 -FIT: 25. VII. 2008(1ex.), 30. V. 2009(1ex.); FIT1: 22. VII. 2012(1ex.), 10. VIII. 2013(1ex.); FIT2: 4. VIII. 2012(1ex.), 30. V. 2015(1ex.), 28. V. 2016(1ex.); FIT3: 17. V. 2014(1ex.), 30. V. 2015(1ex.); FIT4: 20. V. 2011(1ex.), 10. V. 2014(1ex.),

11. VII. 2015(1ex.), 18. VI. 2016(1ex.); FIT 立枯: 7. VIII. 2010(1ex.), 30. VI. 2012(1ex.).

4. ヨツボシテントウダマシ *Ancylopus pictus asiaticus* Strohecker, 1972

大津市坊村, 13. V. 1979(1ex.), 近江八幡市安土町大中, 21. IX. 2015(1ex.).

5. キボシテントウダマシ *Mycetina amabilis* Gorham, 1873 【新】

東近江市紅葉尾町 -FIT1: 23. VI. 2007(1ex.), 12. V. 2012(1ex.), 10. VI. 2012(2exs.), 30. VI. 2012(1ex.), 14. VII. 2012(1ex.), 1. VI. 2013(1ex.), 8. VI. 2013(3exs.), 13. VII. 2013(1ex.), 7. VI. 2014(1ex.), 21. VI. 2014(1ex.); FIT2: 27. V. 2012(1ex.), 1. VI. 2012(1ex.), 8. VI. 2013(1ex.); FIT3: 17. VI. 2012(1ex.), 22. VII. 2012(1ex.), 29. VI. 2013(1ex.); FIT4: 12. VI. 2010(1ex.), 19. V. 2012(1ex.), 22. VII. 2012(1ex.), 26. V. 2013(1ex.), 28. VI. 2014(1ex.); FIT 立枯: 5. VI. 2010(1ex.), 1. VI. 2013(1ex.); 8. VI. 2013(1ex.).

6. イカリモンテントウダマシ *Mycetina ancoriger* Gorham, 1873 【新】

彦根市多賀町高室山, 23. VIII. 2003(1ex.). 日野町綿向山 FIT4: 22. VIII. 2004(1ex.). 東近江市紅葉尾町 -FIT: 8. IX. 2007(1ex.), 14. VI. 2008(1ex.), 19. VII. 2008(2exs.), 25. VII. 2008(3exs.), 9. VIII. 2008(1ex.), 30. VIII. 2008(1ex.); FIT1: 28. VIII. 2010(1ex.), 17. VIII. 2013(1ex.); FIT2: 27. V. 2012(1ex.), 30. V. 2015(1ex.); FIT3: 31. VII. 2010(1ex.), 28. VIII. 2010(1ex.), 30. VI. 2012(4exs.), 17. VIII. 2013(1ex.); FIT4: 4. IX. 2010(1ex.), 10. VI. 2011(1ex.), 1. VI. 2012(1ex.), 22. VI. 2013(1ex.), 28. VII. 2013(1ex.), 2. V. 2015(1ex.), 11. VI. 2016(1ex.); FIT 立枯: 12. VI. 2010(1ex.), 24. VII. 2010(1ex.), 25. VI. 2011(1ex.), 2. IX. 2012(1ex.), 28. VII. 2013(1ex.).

7. ムナビロテントウダマシ *Mycetina laticollis* Gorham, 1887 【新】

東近江市紅葉尾町 - FIT4: 8. VI. 2013(1ex.). FIT 立枯: 2. VII. 2011(1ex.). 未熟・淡色な個体: 20. VII. 2015(1ex.).

8. ルリテントウダマシ *Endomychus gorhami gorhami* (Lewis, 1874) 【新】

栗東市金勝寺, 7. IX. 1986(1ex.). 東近江市紅葉尾町 -FIT1: 27. IX. 2014(1ex.), 26. IX. 2015(1ex.), 22. V. 2016(2exs.), 3. IX. 2016(1ex.); FIT4: 6. VII. 2013(1ex.), 18. VI. 2016(1ex.), 17. IX. 2016(1ex.).



図1. FITの設置状況(東近江市紅葉尾町)。

9. ヒラノクロテントウダマシ *Endomychus hiranoi* Sasaji, 1978 【新】

東近江市紅葉尾町 -FIT1: 6. VII. 2013(1ex.), 14. IX. 2013(1ex.), 26. VII. 2014(1ex.), 2. VII. 2016(1ex); FIT3: 30. VI. 2012(1ex.), 22. VII. 2012(1ex.), 7. IX. 2013(1ex.); FIT4: 21. IX. 2013(1ex.), FIT 立枯: 23. VIII. 2014(1ex.)

10. ハバビロテントウダマシ *Endomychus quadra* (Gorham, 1887) 【新】

長浜市余呉町下丹生, 14. V. 1989(1ex.). 日野町綿向山, 11. VIII. 2004(1ex.)

東近江市永源寺紅葉尾町における9年間のFITによるテントウダマシ科の季節消長は5月上旬～9月下旬となり、最も多く採集されたイカリモンテントウダマシ(34匹)は5月2日～9月8日、2番目に多かったキボシテントウダマシ(27匹)は5月12日～7月22日であった。

本報告では、10種(112匹)を記録し、このうち9種が滋賀県初記録であった。近府県では福井県で21種(福井県県民生活部自然保護課, 1998)、京都府で22種(京都府企画環境部環境企画課, 2015)が記録されており、滋賀県でも更なる追加が期待される。今後、県内の湖西・湖北域のデータを集積するなど、調査を継続したい。

引用文献

福井県県民生活部自然保護課, 1998. テントウムシダマシ科 Endomychidae, マルテントウダマシ科 Anamorphidae (= Mychothenidae). pp. 193-195. 福井県昆虫目録(第2版). 567 pp.
京都府企画環境部環境企画課, 2015. 京都府レッドデータブック2015, 京都府自然環境目録 鞘翅(コウチュウ)目. 京都府環境部自然環境保全課 http://www.pref.kyoto.jp/kankyo/mokuroku/bio/db/insect_list.xls(2016年12月12日閲覧).

佐々治寛之, 1985. テントウダマシ科. 原色日本甲虫図鑑(III):237-242, pls. 38-39. 保育社, 大阪.
新保友之・保積隆夫, 1979. 滋賀県の昆虫相. pp. 801-889. 滋賀県の自然. 滋賀県自然保護財団.
新保友之, 1991. 滋賀県の昆虫相(II). pp. 1791-1845. 滋賀県自然誌. 滋賀県自然保護財団.

(山本雅則 近江八幡市安土町宮津 1-57)

【短報】ハナノハナノミを香川県で採集

香川県未記録のハナノハナノミ *Mordellaria hananoi* (Nakane et Nomura) を高松市塩江町で採集しているので、報告する。

1ex., 香川県高松市塩江町上西小出川, 3. VIII. 2008, 筆者採集・保管。

高松市の“大滝山県民憩いの森キャンプ場”近くの、各種広葉樹の伐採木を積んであるところで、午前11時過ぎに採集した。伐採木は、伐採後かなり日数が経過していたようで、ところどころに菌類が生えているのが見られた。カミキリムシ類の飛来も期待したが、前述のように材がやや古く、時期も8月上旬と遅かったからか、近くを飛翔中のオオヨツスジハナカミキリ *Macroleptura regalis* (Bates) を目撃したのみであった。当日は4頭を採集したが、筆者の不注意のため標本はこの1個体しか残っていない。

本種は全国的に記録が少なく、筆者の知る限り四国からは高知県黒尊の記録しかない(高桑, 2000)。

余談になるが、何年か前の甲虫学会の席上で、本種を採集したことを故・高桑正敏博士にお話ししたところ、お褒めの言葉をいただき、発表を勧められたことがある。筆者の怠慢により、博士の生前に

記録を報告できなかったことを、霊前の高桑博士に深くお詫びしたい。

引用文献

高桑正敏, 2000. 日本産ハナノミ科ハナノミ族概説7. 甲虫ニュース, (132): 1-4.

(藤本博文 760-0005 高松市宮脇町 1-14-4)



図1. 香川県産ハナノハナノミ。